

神戸大学附属図書館の取り組み

人文学・社会科学データインフラストラクチャー強化事業フォーラム

2026.1.30

守本瞬

(神戸大学附属図書館電子情報グループ)

当事業で連携する3つのデータベース

- ・震災文庫（現代資料）

1995.1.17に発生した阪神・淡路大震災に関する資料
約58,000点のうち約13,000点が電子化公開されている

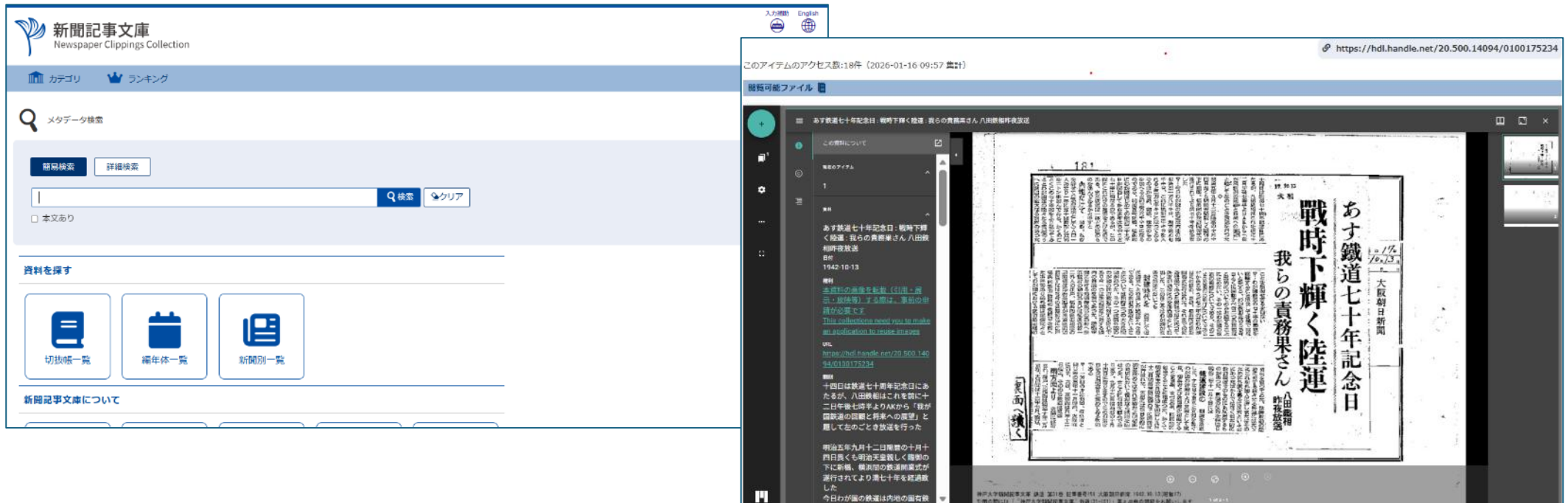
The image displays two overlapping screenshots. The left screenshot shows the homepage of the 'Great Hanshin-Awaji Earthquake Disaster Materials Collection' website. The page features a search bar with '簡易検索' (Simple Search) and '詳細検索' (Detailed Search) buttons, a search input field, and a '検索' (Search) button. Below the search bar are filters for '本文あり' (Text available) and dates '1995年1月17日' and '1995年1月'. The page also includes sections for '資料を探す' (Find materials) with a 'デジタルギャラリー' (Digital Gallery) button, '新着情報' (New information) with two news items, and '震災文庫について' (About the disaster library).

The right screenshot shows a video player displaying a photograph of a large indoor space, likely a gymnasium, filled with people and supplies, including blankets and boxes, during a disaster relief effort. The video player interface includes a play button, a progress bar, and a 'TOP' button in the bottom right corner. The URL in the browser's address bar is <https://hdl.handle.net/20.500.14094/0100048957>.

当事業で連携する3つのデータベース

- ・新聞記事文庫（近代資料）

明治～昭和戦前期にかけての新聞資料切り抜き30万件超
切り抜き画像に加え、記事本文の翻刻も行っている



当事業で連携する3つのデータベース

・貴重書・特殊コレクション（近世資料）

当事業では、主に電子化されていない郷土資料の電子化公開を目標としている

The image shows a screenshot of the 'Special Collections' website on the left and a digital viewer of a handwritten document on the right.

Website Screenshot (Left):

- Header: 神戸大学附属図書館デジタルアーカイブ
- Section: 貴重書・特殊コレクション (Special Collections)
- Navigation: カテゴリ, ランキング
- Search: メタデータ検索, 簡易検索, 詳細検索
- Collection List:
 - 住田文庫 [2474]
 - 神戸開港文庫 [1297]
 - 渋谷文庫 [5075]
 - 中川家文庫 [283]
 - 横井文庫 [55]
- News Section (新着情報):
 - 2025年10月21日 若林泰氏収集文庫の一部を追加公開いたしました
 - 2025年6月12日 若林泰氏収集文庫から武庫郡段上村近世文書を公開いたしました
 - 2025年3月6日 人文科学図書館の古典籍6点の画像を公開いたしました
 - 2024年8月19日 若林泰氏収集文庫の一部450点を公開いたしました

Digital Viewer Screenshot (Right):

- URL: <https://hdl.handle.net/20.500.14094/0100497799>
- Item Title: 売附覚 (酒)
- Metadata: 著者 (小島繁興), 日付 (昭和9年), 種別 (帳簿)
- Text: 手書きの帳簿本文。右側には「同五太 前様」などの繰り返し記載がある。左側には「同五太 前様」などの記載がある。
- Viewer Interface: 拡大縮小、移動などの操作ボタンが並ぶ。

令和7年度の取り組み

- ・図書館システムの改修
- ・JDCatとのデータ連携
- ・英語タイトルの付与
- ・サンテレビジョン取材映像の公開（震災文庫）
- ・位置情報の付与（震災文庫）
- ・新聞記事の翻刻（新聞記事文庫）
- ・地域資料の電子化（貴重書・特殊コレクション）

図書館システムの改修

図書館システムに対し2種類のプログラム改修

1. JDCatとのデータ連携に向けた改修
2. DOI付与のための改修

図書館システムの改修

1. JDCatとのデータ連携に向けた改修

既に他機関とデータ連携していたことから生じた問題を解決するための改修

- JDCatに「送ってはいけない項目」の中に、すでに他機関DBと連携している項目がある
- OAI-PMHでは、相手別に出力項目を変えられない
⇒ JDCatが必要とする項目のみ出力

図書館システムの改修

1. JDCatとのデータ連携に向けた改修

既に他機関とデータ連携していたことから生じた問題を解決するための改修

- すでに自由記述で入力値がある項目にJDCatの統制語を入れる必要がある

⇒ 統制語を入力する項目を追加し、読み替えて出力

図書館システムの改修

2. DOI付与のための改修

現状、日本ではJapan Link Center(JaLC)に登録してDOIを有効化することが現実的な方法

方法1) JaLCの正会員になって登録

年会費：累計登録件数 100,000件～ 30万円/年※

※登録件数に応じて正会員ごとに委員会で別途定める。

⇒負担が大きく、継続性に懸念があり断念

図書館システムの改修

2. DOI付与のための改修

方法2) IRDBの準会員になって登録

Institutional Repositories DataBase(IRDB)

国内の大学や研究機関が公開している学術情報のメタデータを収集して検索できるサービス。各大学の学術機関リポジトリはほぼすべて連携。NIIが運営している。

このDBには、古文書や新聞記事の登録が可能。

図書館システムの改修

2. DOI付与のための改修

方法2) IRDBの準会員になって登録

IRDBにメタデータを登録すると、DOI付与に必要なデータがJaLCにも連携され、DOIが有効化

JaLC連携については無料

ただし、IRDBとデータ連携する必要がある

⇒ 3DBがIRDBとのデータ連携ができるよう改修

JDCatとのデータ連携

以上の図書館システム改修の結果、

- ・JDCatと連携予定のデータについてDOIの付与開始(2026.12)
- ・JDCatと連携開始(2026.1)

英語タイトルの付与

3DBについて、タイトルの英訳(貴重書はローマナイズ)を付与

英訳はGoogle翻訳機能を利用

大量のデータ翻訳には便利

おおむね正確だが、個別には難点あり

(地名：本町は Honmachi か Honcho か)

(新聞記事：米は Rice か USA か)

サンテレビジョン取材映像の公開 (震災文庫)

サンテレビジョンから取材映像の提供を受け、震災文庫ウェブサイトから公開

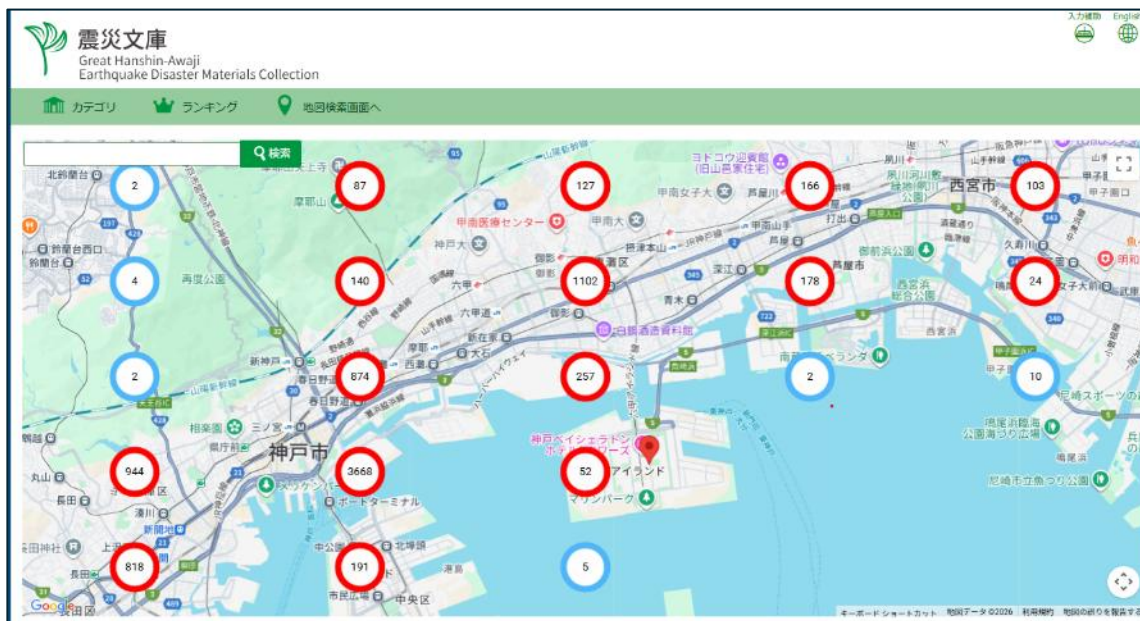
- ・肖像権検討会を実施し、館内限定公開とする映像を選別
- ・2026年1月時点で、1995年1月23日
(発災から1週間後)まで公開済み



位置情報の付与（震災文庫）

震災文庫の主に画像・映像に対して位置情報を付与し、地図上での検索を可能にしている。

1995年当時の地理情報などのデジタルデータが存在しないため、手作業での位置特定が必要。



新聞記事の翻刻（新聞記事文庫）

新聞記事文庫の記事本文について文字起こしと校正を行い、順次翻刻文を公開

あす鉄道七十年記念日：戦時下輝く陸運：我らの責務果さん 八田鉄相昨夜放送

日付
1942-10-13

権利
本資料の画像を転載（引用・展示・放映等）する際は、事前の申請が必要です
[This collections need you to make an application to reuse images](#)

URL
<https://hdl.handle.net/20.500.14094/0100175234>

翻刻
十四日は鉄道七十年記念日にあたるが、八田鉄相はこれを前に十二日午後七時半よりAKから「我が国鉄道の回顧と将来への展望」と題して左のごとき放送を行った

明治五年九月十二日隔暦の十月十四日長くも明治天皇親しく臨御の下に新橋、横浜間の鉄道開業式が遂行されてより満七十年を経過致した
今日わが国の鉄道は内地の国有鉄道一万八千キロ、地方鉄道七千キロ、これに軌道二千キロを入れると二万七千キロになっているそのほか台湾、朝鮮、樺太のものを加えると約三万六千キロになるのである、明治五年新橋、横浜間にわが国はじめての鉄道二十九キロが開通してから本年はちょうど七十年に相なるのであるが、この間にこれだけの発達をとげたのである、また鉄道は一体どの位のものを運んでいるのかと申すと内地だけで国鉄、私鉄を併せて（軌道は別として）人口一人あたり一年に五十回乗車し貨物を二ト半運んでいる、かくのごとくこの七十年間をふり返ってみるとわが国運の隆々たる発展のうえに鉄道の偉大なる貢献があったことを想起せざるを得ない
わが国鉄道の七十年の歴史を回顧することは決して徒爾ではないと存する、わが鉄道史のうち今日とくに回顧すべき二つの重要な事柄についてのみお話しすることに止めたい、その一はわが国の

あす鉄道七十年記念日
戦時下輝く陸運
我らの責務果さん
八田鐵相昨夜放送

大阪朝日新聞
1942年10月13日

地域資料の電子化（貴重書・特殊コレクション）

郷土資料について作業

写真撮影を継続

メタデータ付与、公開

JDCatとのデータ連携準備

その他、地域資料については中間評価コメントをふまえ、
データセット（画像・翻刻・メタデータ）の提供に向けた検討を開始

ご清聴ありがとうございました